

施策	2203 住環境の維持・向上						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民						
施策が目指す姿	市営住宅リフレッシュ事業の推進、市営住宅の維持・保全、市道の整備推進、市道の維持・管理等を図る。						
成果指標	市営住宅の長寿命化修繕率...5年間（平成25年度～29年度）で70%（現状値39.1%） 市道の舗装率...5年間（平成25年度～29年度）で80.2%（現状値77.6%） 市道の改良率...5年間（平成25年度～29年度）で63.2%（現状値61.8%）						
目 標 達 成 状 況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [%]	予定	43.00	55.00	61.25	66.25	70.00
		実績	43.00	51.25	57.50		
	成果指標2 [%]	予定	78.30	78.80	79.40	79.70	80.20
		実績	78.60	78.60	79.30		
		単位コスト	13,762.32	11,908.12	11,681.15		
	成果指標3 [%]	予定	62.10	62.40	62.80	63.00	63.20
		実績	62.70	62.70	62.70		
		単位コスト	17,252.28	14,927.88	14,773.76		
	成果指標4 []	予定					
実績							
	単位コスト						
トータルコスト (千円)	予定	1,154,639	1,068,015	998,005			
	実績	1,081,718	935,978	926,315			
内 部 評 価	貢献度	上位施策「生活環境の充実」の目標値を向上させるためには、市営住宅の長寿命化のための修繕及び市道の舗装・改良が重要であり本単位施策の目標達成による貢献度は高い。					
	達成状況	本年度における達成度については、緊急性を優先し一部年度内未着手となった事業もあったが、実施した事業の達成率は高く、概ね良好といえる。					
	課題	住環境の維持向上にあたっては、市営住宅及び市道の維持補修のみならず、地域の住環境整備を一体的に行う必要があるが、現状は各住宅・各路線別の対応に留まっている。					
	取組方針	市営住宅・市道における要補修箇所の情報収集に努め、地域性・緊急性を視野に入れながら計画変更も検討し、目標値に向けて事業を実施していくことが必要である。					
外 部 評 価	市営住宅の長寿命化修繕、市道の舗装・改良のいずれも目標値に近い成果であり、概ね良好であると評価できる。わずかに目標を達成できなかった要因を分析し、引き続き目標達成に向けて努力すべきと考える。 今後も、日常的な点検調査により緊急度判定を行い、地域性なども勘案して優先順位を決定し、計画的な修繕を実施すべきである。						
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	402101	市道各号線道路改良事業費（栃木）				14,952	100
	402103	市道各号線道路改良事業費（藤岡）				4,593	100
	402104	市道各号線道路改良事業費（都賀）				2,681	100
	402105	市道各号線道路改良事業費（西方）				3,653	100
	402106	市道各号線道路改良事業費（岩舟）				3,564	100
	404101	市道C 1 3号線道路改良事業費（栃木大宮町）				9,672	100
	413803	市道F 2 1・1 - 1 2 0号線道路改良事業費（藤岡太田北）				14,272	100
	413903	市道F 1 - 9 8号線道路改良事業費（藤岡大田和西）				14,649	100
	414101	市道維持管理費				125,293	100
414102	市道維持管理費（大平）				38,847	100	

施策	2203 住環境の維持・向上			
	事業コード	名 称	トータルコスト(千円)	達成度
	414103	市道維持管理費(藤岡)	26,389	100
	414104	市道維持管理費(都賀)	22,750	100
	414105	市道維持管理費(西方)	15,284	100
	414106	市道維持管理費(岩舟)	21,402	100
	414201	市道各号線道路維持補修事業費(栃木)	6,435	100
	414202	市道各号線道路維持補修事業費(大平)	9,429	100
	414301	市道各号線舗装補修事業費(栃木)	32,293	100
	414303	市道各号線舗装補修事業費(藤岡)	28,333	100
	414304	市道各号線舗装補修事業費(都賀)	9,021	100
	450101	改良住宅管理費(栃木)	716	100
	450102	改良住宅管理費(大平)	2,354	100
	450301	市営住宅共通管理費(栃木)	121,939	100
	490802	市道O-16号線道路改良事業費(大平西山田)	10,821	100
	492304	市道T-247号線道路改良事業費(都賀合戦場)	4,231	100
	492404	市道T-208号線道路改良事業費(都賀家中)	5,759	100
	492504	市道T-442号線外道路改良事業費(都賀家中)	6,876	100
単	492604	市道T-402号線外道路改良事業費(都賀家中)	14,336	100
位	492804	市道T2号線道路改良事業費(都賀家中)	6,198	100
施	493705	市道N-3303号線道路改良事業費(西方真名子)	13,703	100
策	494601	市道D23号線道路改良事業費(栃木皆川城内町)	6,090	100
達	494905	市道N-3159号線側溝整備事業費	15,992	100
成	497705	市道各号線道路維持補修事業費(西方)	7,752	100
の	656901	同和对策住宅新築等借入償還基金積立金	413	100
た	705802	市道O-78号線道路改良事業費(大平下高島)	3,139	100
め	708101	舗装修繕事業費	19,914	100
の	708603	北坪地区流末排水整備事業費	4,443	100
事	708906	市道I-98号線道路改良事業費(岩舟下津原)	23,558	100
務	709406	市道I-417号線道路改良事業費(岩舟静和)	12,895	100
事	709806	市道I-299号線道路改良事業費(岩舟静戸)	8,219	100
業	710906	市道I-94・134・135号線道路改良事業費(岩舟静)	11,157	100
	711806	岩舟西根南市営住宅管理費	750	100
	712306	市道I-388号線道路改良事業費(静)	44,725	100
	712406	市道I-614号線道路改良事業費(静)	43,859	100
	717602	市道0430号線(堀ノ内橋)橋りょう整備事業費(大平西水代)	2,748	100
	718003	市道F3-316号線道路改良事業費(藤岡学校通)	4,536	100
	718601	市営住宅耐震診断事業費	4,721	100
	727501	住宅被災者支援事業費(平成27年9月豪雨被害)	8,603	100
	450201	市営住宅リフレッシュ事業費	72,714	94
	722601	空き家対策事業費	5,625	70
	407503	市道F1-115号線外道路改良事業費(藤岡新井新田)	750	10
	496101	電柱移設等事業費	750	10
	400101	道路橋りょう総務事務費(栃木)	5,375	1
	414701	市道各号線橋りょう維持補修事業費(栃木)	495	1
	451701	県営住宅敷地賃借費	17,620	1
	652801	建築課一般経常事務費	4,827	1
	402201	市道B282号線道路改良事業費(栃木惣社町)	0	0
	403501	市道239号線道路改良事業費(栃木千塚町)	0	0
	404901	市道D197号線(牛落橋)橋りょう整備事業費(栃木星野町)	0	0
	407803	市道F3-258・259号線道路改良事業費(藤岡志辺)	0	0
	410202	市道O-29号線道路整備事業費(大平蔵井)	0	0
	410402	市道O-579・580号線道路改良事業費(大平新)	0	0
	413101	市道C386号線道路改良事業費(栃木川原田町)	0	0

平成27年度

単位 施策評価表 補表

施策	2203 住環境の維持・向上		
区分	妥当性	妥当	上位施策の目的を達成するために有効である。
	コスト削減の余地	有	維持管理費等経費縮減可能と思われる事業もある。
	受益者負担	適正	交付金等の負担割合は適正である。
	上位貢献度	有効	単位施策の目標達成度による貢献度は高い。
	類似事業の有無	無	代替え事業等はない。
	成果向上の余地	有	低所得者や住宅確保要配慮者へ住みよい住環境提供を図ることができる。
内部評価	貢献度		
	達成状況		
	課題		
	取組方針		

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	080501	予算事業コード	450201	事業区分	02	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	市営住宅リフレッシュ事業費										主	2203	生活環境の充実		住環境の維持・向上		
担当部課 係・担当チーム名	都市整備部 住宅課 住宅政策係					担当者	栗原 健		従								
事業の性質	2	自治事務		根拠法令等								事業期間	H18 ~ H33 年度		全体事業費 (人件費除)	523,226	千円
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 低所得者や住宅確保要配慮者へ住みよい住環境を提供するために、公営住宅等長寿命化計画に基づき市営住宅の改修を行う。【主要事業】							達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 既存の市営住宅の耐久性、安全性を向上させ、入居者が安全かつ良好な住環境で生活できる市営住宅を供給すること、また施設の長寿命化によりライフサイクルコストを縮減する。								
								成果 策目標	市営住宅の長寿命化修繕率...5年間(平成25年度~29年度)で70%(現状値39.1%) 市道の舗装率...5年間(平成25年度~29年度)で80.2%(現状値77.6%) 市道の改良率...5年間(平成25年度~29年度)で63.2%(現状値61.8%)								

単位：千円、人		平成26年度決算額	平成27年度決算見込													
事業費・指標の推移	国庫支出金		27,113	27,691	平成26年度						平成27年度					
	県支出金		0	0	【事業の内容】 長寿命化計画に基づき下記の工事を実施。 ・城内南市営住宅屋根瓦替工事 低層4棟 ・城内南市営住宅外壁及び排水管改修工事 中層1棟 ・城内南市営住宅建具取替工事 低層2棟 12戸 【成果】 ・工事により長寿命化がなされた。 ・国費により一般財源の使用が縮減された						【事業の内容】 長寿命化計画に基づき下記の工事を実施。 ・城内南市営住宅屋根瓦替工事 低層2棟 ・城内南第2市営住宅屋上防水改修工事 中層1棟 ・城内南市営住宅外壁及び排水管改修工事 中層1棟 ・城内南市営住宅建具取替工事 低層2棟 10戸 【成果】 ・工事により長寿命化がなされた。					
	地方債		32,400	35,000												
	その他特財		2,703	7,023												
	一般財源		0													
	事業費 a		62,216	69,714												
	人件費 b		4,875	3,000												
減価償却費 c		0	0	事業の内容 その成果												
総事業費 a+b+c		67,091	72,714	指標名	算出方法		単位	事業の事後評価		妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地	
結果指標 1		51.25	57.50	修繕執行率	平成29年までに56件の工事を行い全体計画70%とすることに対する、修繕経過割合。平成27年度目標値 61.25%		%	妥当	有	適正	有効	無	有			
結果指標 2																

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)														
	・公営住宅等長寿命化計画に基づいた計画修繕を行なうことにより、施設の長寿命化が実施され、社会資本整備総合交付金制度の導入を図り、交付金による一般財源の歳出縮減を図ることができた。ただし、修繕計画については平成34年までの計画であるため各単年度の修繕は改修コストや施設の状況においては必ずしも計画通りにならないものの、前年度については予定4件に対し4件を実施。 ・今後も計画をベースに、安心・安全な施設環境に入居者が満足できるよう改善工事を進める。														

事後評価備考															
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事 様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	080203	予算事業コード	493705	事業区分	02	経常的事業	新規 / その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	市道 N - 3 3 0 3 号線道路改良事業費 (西方真名子)										主	2203	生活環境の充実		住環境の維持・向上	
担当部課 係・担当チーム名	建設水道部 道路河川整 道路整備第 1 係						担当者	阿部 洋一			従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	道路法			事業期間	H 2 3 ~ H 3 0 年度			全体事業費 (人件費除)	111,958		千円		
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 市道 N 3 3 0 3 号線 (西方町真名子) を改築工事等により改良する。 道路改良工事 L=700m、W=5m 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 安全で快適な通行を確保する。								
	成果策目標	市営住宅の長寿命化修繕率...5年間(平成25年度~29年度)で70%(現状値39.1%) 市道の舗装率...5年間(平成25年度~29年度)で80.2%(現状値77.6%) 市道の改良率...5年間(平成25年度~29年度)で63.2%(現状値61.8%)														

単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込	事業の内容		その成果							
国庫支出金	0	0	平成 2 6 年度		平成 2 7 年度							
県支出金	0	0	【事業の内容】 市道N3303号線の改良工事を実施する。 【成果】 改良工事 L=81.5m (道路整備率11.6%)		【事業の内容】 道路拡幅事業のために必要な改良工事を実施する。 【成果】 道路拡幅事業のために必要な改良工事L=80.5mを実施した。 ・工事進捗率：23.2%							
地方債	9,100	9,600	事業の内容 その成果									
その他特財	0	0										
一般財源	1,052	1,103										
事業費 a	10,152	10,703										
人件費 b	3,000	3,000										
減価償却費 c	0	0										
総事業費 a+b+c	13,152	13,703	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価						
結果指標 1	81.50	162.00	道路整備延長	累積整備延長	H27目標値 200.00m	m	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 2	32.00	43.17	事業進捗率	累積事業費 / 全体事業費 × 100	H27目標値 46.00%	%	妥当	有	適正	有効	無	有

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)											
	1. 事業費コストの縮減 再生資源の活用による建設コストの削減を図った 2. 今後の見通し 平成26年度着工 平成30年度供用開始を目指し適正かつ迅速に事業を実施する											

事後評価備考												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--